

「福岡城潮見櫓」竣工記念式典および一般公開のお知らせ

福岡市では、国史跡福岡城跡を適切に保存し、歴史的価値を次世代に継承するため、石垣や建造物などの保存・整備を進めています。

このたび、令和5年度から復元工事を進めてきた『福岡城潮見櫓（しおみやぐら）』が、竣工する運びとなりました。

つきましては、高島市長出席のもと、下記のとおり記念式典を開催するとともに、市民向け一般公開を開始しますので、当日の取材にご協力いただきますようお願いいたします。

竣工記念式典

日時：令和7年3月16日（日） ※雨天決行（荒天中止）

11時15分～11時45分 ※受付：10時30分～

会場：福岡城潮見櫓（福岡市中央区城内2 舞鶴公園三ノ丸広場）

出席者：市長、市議会議長、福岡商工会議所会頭 ほか

内覧会：式典終了後、報道関係者向け内覧会を実施します。
ぜひご参加ください。

※スペースが狭いため、順番にご案内いたします。



▲ 復元した福岡城潮見櫓

一般公開

日時：令和7年3月17日（月）10時～

▼竣工記念特別公開 ※通常公開では入れない二階も公開

一期 間：令和7年3月17日（月）～5月11日（日） ※4月14日（月）は休館

一時 間：10時～16時

一公開範囲：潮見櫓一階および二階

▼通常公開

一期 間：令和7年5月13日（火）～

一時 間：10時～16時（月曜休館。月曜が祝日の場合、翌平日休館。）

一公開範囲：潮見櫓一階

経済観光文化局史跡整備活用課 担当：中村・大塚

TEL：092-711-4470（内線4470）

E-Mail：shiseki.EPB@city.fukuoka.lg.jp

《備 考》

【国史跡 福岡城跡とは】

福岡城は初代藩主黒田長政とその父黒田如水（官兵衛）により、1601（慶長 6）年～1607（慶長 12）年にかけて築城された平山城です。城内は本丸・二ノ丸・三ノ丸で構成されています。城内面積は約 41 万㎡、濠を含めた総面積は約 110 万㎡で、九州の城の中でも有数の規模です。

城内には 47 の櫓があったとされ、その他に本丸御殿、御下屋敷など多くの建造物がありましたが、明治以降ほとんどの建物が解体・払下げ等で失われ、城内に現存する建物は多聞櫓などごく一部です。1957（昭和 32）年に国史跡指定を受けています。

【潮見櫓とは】

潮見櫓は木造二階建ての建物で、福岡城三ノ丸の北西隅に位置する角櫓（すみやぐら）です。海上の監視を行ったことから名付けられたとも言われ、築城後の早い時期から絵図等でその存在が確認でき、文献によれば 1799（寛政 11）年に修理された記録が残っています。

1908（明治 41）年に旧藩主の黒田家の菩提寺である崇福寺（博多区千代）に払い下げられ、仏殿として使用されていましたが、その時に誤って月見櫓と伝えられてきました。1990（平成 2）年に調査を行ったところ、潮見櫓の証拠を示す棟札が発見され、正しい名称が分かり、このたび本来の場所に移築・復元を行いました。

【潮見櫓 地図】



■ 3月16日 式典当日のスケジュール

- 10:30 受付開始
- 11:15 開式の辞
市長挨拶、議長挨拶、来賓祝辞
潮見櫓の紹介（復元設計を担当した設計士による）
- 11:35～ テープカット
- 11:45～ 式典終了

※式典終了後、出席者による内覧を行います。その後、報道関係者向け内覧を行います。

雨天時の対応

少雨の場合は決行しますが、荒天の場合は式典・内覧ともに中止します。

なお、中止の場合は、前日（15日）の17時30分までに『福岡市の文化財』ホームページでお知らせしますので、ご確認ください。

- ▶ 福岡市の文化財（新着情報一覧）

<https://bunkazai.city.fukuoka.lg.jp/sp/news/>



『福岡市の文化財』
新着情報一覧

■ 取材上の注意

①建物が狭く、一度に入れる人数に限りがございますので、職員がご案内いたします。

※特に、式典終了後の内覧会では、各社交代で建物内に入らせていただく場合がございます。

②建物内は土足厳禁となっております。入口に用意しているスリッパに、お履き替えください。

③内覧では、2階もご案内可能ですが、階段および室内が非常に狭くなっております。

譲り合っていただくなど、ご協力をお願いいたします。